

文京区男女平等参画に関する区民調査 調査項目（案）の考え方について

1 家庭生活について

前回番号	今回番号	項目名	考え方・変更点
問 1	問 1	家庭における役割分担	変更なし。
問 1-1	問 1-1	家事を具体的に行っている人	変更なし。
—	問 2	新型コロナウイルスの影響による在宅時間の变化	コロナ禍の中で、在宅勤務やステイホームといった生活様式の変化による影響や意識の変化を把握する。
—	問 3	新型コロナウイルスの影響による家事の量の変化	
—	問 3-1	家事の量が減った理由	
—	問 3-2	家事への負担感の変化	
問 2	問 4	家族観・結婚観	<ul style="list-style-type: none"> ・イ「～というのもひとつの生き方だ」を「～というのも選択の一つだ」に文言変更する。 ・【新規】オ「結婚に国籍の違いは関係ない」、カ「同性同士のカップルを尊重する」を追加する。

2 保育・教育について

前回番号	今回番号	項目名	考え方・変更点
問 3	問 5	学校教育で取り入れたほうが良いこと	<ul style="list-style-type: none"> ・設問文及び選択肢の学校教育を「保育・教育」と変更し、対象を拡大する。 ・不要な選択肢の削除や選択肢の文言を全体的に見直す。

(旧3) 介護について

前回番号	今回番号	項目名	考え方・変更点
問4	—	将来、自分の介護をしてほしい人	国・都の比較が難しく WLB 分野と設問が似ているため削除する。
問5	—	男性が介護に参加するために必要なこと	国・都の比較が難しく WLB 分野と設問が似ているため削除する。

3 (旧4) 男女平等への関心と意識について

前回番号	今回番号	項目名	考え方・変更点
問6	問6	各分野における男女の地位の平等感	変更なし。
問7	問7	男女平等参画に関する用語の認知度	<p>・時代に合わせ、調査する法律、制度等の一部を変更し、入れ替える。</p> <p>【変更】エ. ドメスティック・バイオレンス防止法 (DV防止法・DV法) ⇒エ. ドメスティック・バイオレンス (DV)</p> <p>【削除】カ. 男女共同参画社会基本法</p> <p>【削除】ケ. 性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律</p> <p>【変更】コ. 性的指向、性的自認⇒コ. SOGI (性的指向、性自認)</p> <p>【削除】サ. 女性のエンパワーメント原則</p> <p>【変更】シ. ジェンダー⇒ジェンダー平等</p> <p>【削除】セ. ポジティブ・アクション</p> <p>【削除】ソ. ワーク・ライフ・バランス</p> <p>【削除】タ. 東京都男女平等参画基本条例</p> <p>【削除】ツ. ILO (国際労働機関)</p> <p>【削除】テ. CEDAW (国連女子差別撤廃委員会)</p> <p>【変更】ト. LGBT⇒LGBT (性的マイノリティ)</p> <p>【削除】ナ. 男女共同参画基本計画</p> <p>【新規】文京区パートナーシップ宣誓制度</p> <p>【新規】SDGs (持続可能開発目標)</p> <p>【新規】アウティング</p> <p>・「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」の説明を注釈として追加する。</p>

4（旧5） 就労・職場について

前回番号	今回番号	項目名	考え方・変更点
問8	問8	回答者の職業	「3. 在宅就業（IT を利用した在宅勤務、内職など）」のみ雇用形態を問う選択肢となっていたため削除する。
問8-1	—	働いている理由	課題解決につながる設問に絞るため削除する（「生計維持」等の金銭目的、「能力の活用」が多い結果が予想される。）。
問8-2	問8-1	職場における（仕事内容や待遇面での）男女での違い	<ul style="list-style-type: none"> ・「6. 結婚や出産で～」を「6. 女性が結婚や出産で～」に文言変更する。 ・選択肢6と7を位置変更する。 ・「12. 女性も男性も同じように時間外労働や～」を「12. 性別にかかわらず時間外労働や～」に文言変更する（性別の違いを表現する必要はない。）。 ・男女差を男女格差に文言変更する。
—	問8-2	【新規】働き方改革について、勤務形態や取り組み	働き方改革における区民の勤務先の実態を把握する。
問8-3	問8-3	働いていない理由	<ul style="list-style-type: none"> ・「1. やりたい仕事や条件の合う仕事が見つからないから」を「1. やりたい仕事が見つからないから」と「2. 勤務時間・年齢など、条件の合う仕事が見つからないから」に分割する。 ・「5. 体力的又は能力的な不安があるから」を「6. 健康または能力に不安があるから」に文言変更する。 ・「9. 税法上の優遇等を受けたいため」を「9. 税法上の優遇（配偶者控除等）等を受けたいから」に変更する。 ・選択肢の文末を「～から」に統一する。
問9	問9	性別にかかわらず働きやすい職場環境を作るために重要なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「1. 女性と男性の賃金格差を～」を「1. 性別による賃金格差を～」に文言変更する。 ・「2. 女性と男性の格差をなくすために積極的な～」を「2. 女性の管理職を増やすなどの積極的な～」に文言変更する。 ・「5. テレワーク（在宅勤務）を導入する」を追加する。 ・「6. 女性と男性の職種や職場配置の～」を「6. 職種による性別の偏りをなくし、職場配置の～」に文言変更する。 ・「8. 職場で一人ひとりが努力し、お互いに協力する」を削除する。 ・「積極的な改善措置（ポジティブ・アクション）」と「ハラスメント」の説明を注釈として追加する。

5（旧6） 女性の活躍について

前回番号	今回番号	項目名	考え方・変更点
問 10	問 10	女性が働き続けることに対する意識	「3. 家事・育児しながら女性が働き続けることで～」を「3. 女性が出産をしても働き続けることで～」に文言変更する。
問 11	問 11	女性の管理職登用など参画を促すために必要な支援	「7. 男性の働き方の見直し（育休・介護休暇取得率の向上等）」を追加する。

6（旧7） 家庭生活と社会生活の両立について

前回番号	今回番号	項目名	考え方・変更点
問 12	問 12	「仕事」「家庭生活」「個人の生活」の優先度 《希望》《現実（現状）》	地域活動は個人の一部に含まれると考え、「地域」を削除する。
問 13	問 13	社会全体として仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を推進するために必要なこと	・選択肢1を簡略化する。 ・選択肢3の「男女とも」を削除する。 ・「5. 男女の昇進～」を「5. 性別による昇進～」に文言変更する。
問 14	問 14	育児休業、介護休業等を取得しやすくするために必要なこと	変更なし。
問 15	問 15	育児や介護中に希望する働き方	変更なし。

7（旧8） 地域活動・社会活動への参加について

前回番号	今回番号	項目名	考え方・変更点
問 16	問 16	この1年間に参加した地域活動や社会活動	「4. 趣味・学習・スポーツ活動」を「4. 地域における趣味・学習・スポーツ活動」に変更する（個人の活動と混同することを防ぐ。）。
問 16-1	問 16-1	参加していない理由	「7. 子どもや高齢者がいるので出かけにくい」を「7. 育児や介護があるため出かけにくい」に文言変更する。
—	問 17	【新規】地域活動の会長の性別	固定的性別役割分担意識を把握する。
問 17	問 18	男女双方の視点を取り入れた防災対応として重要なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・設問文の導入部分を簡略化する。 ・「3. ～男女両方のリーダーを育成する」を「3. ～性別を問わずリーダーを育成する」に文言変更する。 ・「6. 避難所の設備や備品に女性の～」を「6. 避難所の設備や備品に女性やLGBTQ等の～」に文言変更する。

8（旧9） 政策決定過程への女性の参画について

前回番号	今回番号	項目名	考え方・変更点
問 18	問 19	女性の意見が行政にどの程度反映されているか	変更なし。
問 18-1	問 19-1	反映されていない理由	変更なし。
問 19	—	区の審議会委員、区管理職の女性比率についての考え方	課題解決につながる設問に絞るため削除する（「増えたほうがよい」が多い結果が予想される。）。
問 20	問 20	政策や方針決定の過程に女性があまり進出していない原因	変更なし。
—	問 21	【新規】女性比率を増やすための方策	現状の審議会等の女性比率が増えない課題を解決するための検討材料とする。

9 (旧 10) 健康について

前回番号	今回番号	項目名	考え方・変更点
問 21	問 22	この1年間の健康診断受診状況	設問文の導入部分を簡略化する。
問 21-1	問 22-1	受けなかった理由	「2. 仕事が忙しいから」を「2. 仕事で忙しいから」に変更し、選択肢内の表現を統一する。
問 22	問 23	女性が性や妊娠・出産に関して自分で決める上で必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・設問文の導入部分を簡略化する。 ・「1. 子どもの成長と発達に応じた性教育」を「1. 子どもの成長と発達に応じた性の多様性を含めた性教育」に文言変更する。 ・前回選択肢「5. 更年期についての情報提供・相談体制の充実」は、女性の健康について大枠で捉えたときに関係する選択肢だが、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの考えには直接影響しないため削除する。

10 (旧 11) 人権問題について

前回番号	今回番号	項目名	考え方・変更点
—	問 24	【新規】各種ハラスメントを受けた経験	セクハラのみではなく、パワハラ、マタハラ等を追加し、受けた際の環境別に回答欄を分け、より広くハラスメントの被害状況を把握する。
問 24	—	セクシュアル・ハラスメントを受けた経験	上記設問に変更のため削除する。
—	問 24-1	【新規】相談の有無	ハラスメント被害者の相談状況を把握する。
—	問 24-2	【新規】相談相手	ハラスメント被害者の相談先を把握する。
—	問 24-3	【新規】相談しなかった理由	ハラスメント被害者が相談できない要因を把握する。

10（旧 11） 人権問題について

前回番号	今回番号	項目名	考え方・変更点
問 23	問 25	身体的性別に悩んだり、身近な人が悩むのを見た経験の有無	変更なし。
—	問 25- 1	【新規】 実際に悩んだ場面	区民が性別役割で悩んだ具体的な場면을把握する。
問 25	問 26	社会における人権問題の対応状況についての考え	<ul style="list-style-type: none"> ・「ア. 性同一性障害」を「ア. トランスジェンダーの人（出生時に登録された性別に違和感がある人）」に文言変更する。 ・「イ. 性的指向（同性愛・両性愛等）」を「イ. 性的指向（どのような性別の人を好きになるか、ならないかということ）」に文言変更する。 ・「キ. JK ビジネスや AV 出演強要等への対策」を追加する。 ・「ク. 児童ポルノ」を「ク. 幼児・児童ポルノ」に文言変更する。 ・「JK ビジネス」「リベンジポルノ」の説明を注釈として追加する。
問 26	問 27	メディアにおける性や暴力表現についての考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・設問文に「ラジオ」を追加する。 ・「性・暴力」を「性や暴力」に文言変更する。 ・「2. 女性の性的な面を強調する表現が目立つ」の対となる選択肢として、「3. 男性の暴力的な側面を強調する表現が目立つ」を新規に追加する。

11（新規） 性の多様性について

前回番号	今回番号	項目名	考え方・変更点
—	問 28	【新規】 周囲の L G B T Q 等当事者の有無	L G B T Q 等の人への理解度を把握する。
—	問 29	【新規】 L G B T Q 等であることを打ち明けられた時の対応	L G B T Q 等の人への差別や偏見意識を把握する。
—	問 29- 1	【新規】 打ち明けられた際に対応が変化する理由	L G B T Q 等の人への差別や偏見の理由を把握する。

12（旧 12） 暴力の防止について

前回番号	今回番号	項目名	考え方・変更点
問 27	問 30	認知している公的なDV相談機関	「3. 文京区配偶者暴力相談支援センター」を追加する。
問 28	問 31	配偶者・パートナー、恋人等から被害を受けた経験、加害経験【身体的暴行、心理的攻撃、経済的圧迫、性的強要】	身体的暴行、心理的攻撃、経済的圧迫の注釈を一部変更する。
問 28-1	問 31-1	相談した相手（場所）	「4. 区の窓口、男女平等センターに相談した」を「区の窓口、男女平等センター相談室に相談した」に変更する。
問 28-2	問 31-2	相談しなかった理由	変更なし。
—	問 32	【新規】DV相談窓口に配慮してほしいこと	厚生労働省令和元年度「男女共同参画社会に関する世論調査」から引用し、相談窓口の質の向上のための検討材料とする。
問 29	問 33	DVに対する対策や援助として特に充実させる必要があるもの	・ 選択肢3を簡略化する。 ・ 選択肢4に「性別にかかわらず、」を追加する。

（旧 13） 国際社会と男女平等について

前回番号	今回番号	項目名	考え方・変更点
問 30	—	UN Women 日本事務所開設の認知	設問数削減のため削除する。
問 31	—	UN Women の活動で期待すること	設問数削減のため削除する。
問 32	—	男女平等の観点での幸福度	男女平等の観点で、幸せを聞くことは難しいと考え削除する。

13（旧 14） 男女平等参画の推進施策・男女平等参画センターについて

前回番号	今回番号	項目名	考え方・変更点
問 33-1	問 34	男女平等センターの利用状況	変更なし。
問 33-2	—	文京区女性団体連絡会による指定管理の認知	設問数削減のため削除する。
問 34	—	男女平等センターが力を入れるべき事業	男女平等センターと区の個別事業について聞くのではなく、区として男女平等参画社会を実現するために力を入れるべきことを調査したいため削除する。
問 35	—	区が男女平等推進のために行っている事業の認知	
問 36	問 35	男女平等参画社会を実現するために区が力を入れるべきこと	選択肢の文言を全体的に見直し、追加・変更する。
問 37	問 36	自由意見欄	変更なし。

※ フェイスシート

前回番号	今回番号	項目名	考え方・変更点
F 1	F 1	性別	「3. その他」を「その他の性自認」へ文言変更する。
F 2	F 2	年齢	「1. 18～19 歳」の区分を追加する。
F 3	F 3	世帯構成	<ul style="list-style-type: none"> ・「1. 単身者」を「1. 一人暮らし」に文言変更する。 ・「2. 夫婦のみ（一世代世帯）」を「2. 配偶者との二人暮らし（夫婦・事実婚・同性パートナー）（一世代世帯）」に変更する。
F 4	F 4	結婚の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・「2. 同性パートナーとの宣誓」を追加する。 ・選択肢 4 から「(未婚)」を削除
F 4-1	F 4-1	世帯の就労状況	変更なし。
F 5	F 5	子どもの有無	変更なし。
F 6	F 6	介護の有無	選択肢「家庭と介護施設ほぼ同じくらい」を「家庭と介護施設を併用」へ文言変更する。